

東宝見聞録

卒業式行われる!



3月1日に卒業式が行われ、164名の卒業生が学舎をあとにしました。在校生の皆さんは、どのような思いで卒業していく先輩達を送りましたか。1年後・2年後の自分の姿を思い浮かべた人もいたことでしょう。

在校生代表の大堀君は「これから先、幾多の苦勞が待ち受けているかもしれませんが、決して苦勞から逃げる事なく真正面からぶつかってそれを乗り越えて下さい。」と別れの言葉を述べました。それに対し、卒業生代表の蓑部さんは、答辞として次のように述べました。“Time waits for no one.” この言葉を知っている人は多いと思いますが、時は待ってはくれません。(高校生活は)たった一度きりです。この学校を盛り上げ、楽しむのは在校生である皆さん自身です。先生や保護者など周りの人達でなく、皆さん一人ひとりの気持ち次第であることを忘れないで下さい。これからの東高校を楽しみにしています。」

先輩達のメッセージを真摯に受けとめ、東高校の良き伝統を受け継ぎ、一人一人が主役となってすばらしい学校にしていってほしいものです。

最後の語学研修旅行!

今年度で最後となるシンガポールへの語学研修旅行が行われました。感動的な出会いと共に、異文化に肌で触れ、理解を深めるきっかけとなったことでしょう。今年で最後となるのが残念ですね。参加した生徒の感想です。

私達、国際教養科2年は、2月18日～22日の間、3泊5日の語学研修旅行に行きました。

最初は、「バスで3時間半、飛行機で6時間もかけて

シンガポールに行かなくてもいいのに…」と書いていたのですが、実際に行って過ごすうちに、帰る頃には「来てよかった。すごく楽しかった。まだここにいたい。」と思えるほど、とても充実した4日間を過ごせました。

楽しい思い出は、マライオンやS M A PがCM撮影を行ったマーナ・ベイ・サンズを間近で見られたこと、ハエナやサイライオン・シカなどの動物をととても近くで見られたナイトサファリを体験できたことです。

しかし、楽しい事だけではなく自分の話す英語がうまく伝わらなかったり、相手の話す英語が“シングリッシュ”というのもあり、うまく聞き取れなかったりして苦勞した面も多々ありました。

けれども、自分の話す英語が伝わった時や会話の内容が分かった時の喜びはとても大きかったです。また、私達を2泊、宿泊させてくれたホストファミリーと出会えたことはとても良い体験でした。やはり、英語での会話は難しかったですが、ホストファミリーと色々な話が出来て良かったです。お別れの日の朝、ホストシスターが通っている学校に行くため、皆、民族衣装を着て登校しました。その衣装を着ることが出来たのもとても良い思い出になりました。

一生に1度、行けるか行けないかの遠い外国に行くことが出来て良かったです。



日	曜	来週	の	予	定
3/19	月	代議員会	(16:10～)	美術室	
20	火	春分の日			
21	水				
22	木				
23	金	終業式			
24	土				
25	日				